◀国体種目別ポスターのいろいろ……

このほかにも多数ありますが、編集日までに到着したもののみ掲載しました

麦作改善拠点部落も設置

農林部

新規事業として、林道の橋梁を漸次コンクリート橋に改める林道改良費及びこれまでの水源林造成事業にかわる保安林改良事業費に五百十八万円、猪の被害に対する対策として、新たに猪捕獲相談設置補助費など三十六万円余、林業改良指導員が使用するオートバイ購入費六十七万円余を計上しました。

農業関係では、ぽんかん、ネーブル、甘夏柑など本県に最も適した特殊果樹の振興を図るため、七十万円を計上し、品種系統の正しい苗木の育成確保を図り、又農業改良普及員が使用しているスクター、オートバイなどの燃料費を助成する経費も計上しました。

また、国における麦生産合理化対策と歩調をあわせ、麦作省力多収栽培法の普及奨励を図るため、麦作改善拠点部落を設置する経費二百一万九千円も計上しました。

畜産関係をみると、褐牛の振興対策として、国立の試験研究機関の誘致決定をみましたので、その整地と道路などの附帯工事について県も協力することとして必要経費二百二十二万五千円を計上したほか、県内の褐牛肥育牛を大阪中央卸売市場に出荷する経費も計上し、販路の拡張を図ることにしました。

航送船組合に利子補給

土木部

有明海自動車航送船組合は、昭和三十三年営業開始以来経営不振が続いたので、その対策として、国に対しては、起債の償還年限や償却年限の延長を度々陳情してきましたが、固定資産の償却年限延長が認められる一方、その業績も漸次向上してきましたことは喜ばしいことです。

しかしながら、なお資金操作上の困難が続いていますので、この際一般会計から貸付金に対する利子補給を行うこととして、七十九万二千円を計上し、経費の軽減を図ることにしました。

菊池土木事務所は、借用事務所で事業執行上不便でありますので、地元の援助を得て、私立商業高等学校の敷地を買収移転する計画にいたしました。

……

産業教育の充実を図る

教育庁

高等学校における理科教育及び産業教育の充実を図るため、特に理科教室が不足して支障をきたしている人吉高校及び南関高校の理科教室の増築など営繕費に一千三百万円余、産業教育理科教育施設費二百九十二万六千円、又、当初予算に県立水産高等学校に実習トロール船二隻の建造計画をしましたが、国庫補助金の増額や、建造資材の値上りにより一千四百十万円を増額し、速かに水産業振興の基幹となる要員の養成ができることを願っております。

信号機なども整備

警察本部

「道路交通取締法」の改正に伴い、道路標識、道路鋲、交通信号機などを整備するため百六十万円を計上。又、第一線で活躍している刑事捜査専従員の特殊勤務手当の増額のため約百二十万円、熊本市白川巡査派出所を新築する所要額六十九万二千円を計上しています。

＊

昭和三十四年度最終才出予算と、昭和三十五年度才出現計予算を比較いたしますと、総予算額において本年度が約十億円伸びています。

特に指定公共事業など、国の認証額が大巾に伸びた土木費、及び産業経済費が目立つており、教育費をはじめ、その他の事業目は大体等しい割合を示しています。災害復旧費は、本年度が減少していますが、これは二十八災をはじめ、過年災害の大部分が完了したためで、災害復旧費が減少することは産業振興上からもまことに幸いなことです。

才入面においては、地方交付税の増額が目立つており、自主財源の県税が伸びなやみの状態です。

昭和三十五年度の投資的事業は、本年度は前年度最終予算に比較して大巾に伸びています。

以上追加予算の大要について申し上げましたが、**現在の予算総額は百八十四億六千七百十万四千円**となつています。

この後また事業が増加することは必至ですが、効率的な予算の執行に努め、赤字団体を脱して、財政自立を達成し県政の新展を図りたいと思います。

（財政課）